

請願第14号	受理年月日	平成26年10月30日
付託委員会	保健病院委員会	
紹介議員	八記博春、大石正信、波田千賀子、藤沢加代、柳井誠、田中光明、荒川徹、石田康高	
請願者	小倉南区山手一丁目14-3 全日本年金者組合北九州市協議会 議長 江口 佳郎 他1団体	
件名	年金削減の取りやめと最低保障年金制度の実現について	
要旨		
<p>政府は年金支給額の決定に当たって、物価スライドとともに、マクロ経済スライドを導入し、物価のいかんにかかわらず年金を引き下げようとしている。厚生労働省はことしの財政検証で、向こう30年間にわたり年金を下げ続けると言っている。</p> <p>年金の引き下げは、安倍首相のいう経済の好循環にも逆行し、地域経済と地方財政にとっても大きな打撃となる。これは高齢者だけの問題ではない。賃金低下と非正規労働者がふえる中、年収200万円以下のワーキングプアが1,100万人を超えた。</p> <p>年金引き下げの取りやめは切実な願いである。国民の生存権を守る全額国庫負担の最低保障年金制度も絶対に必要である。</p> <p>については、関係各方面に対し、次のとおり意見書を提出していただきたい。</p>		
記		
1 年金削減を取りやめ、そのためのマクロ経済スライドを廃止すること。		
2 全額国庫負担の最低保障年金制度を実現すること。		